



■ 順天堂大学医学部附属静岡病院の紹介

病院長 前田 稔

順天堂大学医学部附属静岡病院は3次の救命救急センター・新生児センターを併設した病床数512床を有する総合病院です。

特に救命救急センターは静岡県東部地区で60床の許可を頂き、広域救命救急医療の中心的役割を果たしております。

静岡病院は病院名変更を機に、基本方針に立ち帰り、(1)患者様一人一人に、安全で根拠にもとづく適切な高い質の医療をおこないます。(2)患者様に満足していただける、きめ細かい手作りの看護をおこないます。(3)患者様が安心して、快適な療養生活ができる環境を提供いたします。(4)高度救急医療、高齢者医療、小児新生児医療の充実を計ります。(5)医療安全対策、病病・病診連携に取り組みます。(6)最新医療情報の提供に努めます。

また、2004年4月より当院が静岡県東部・中部ドクターヘリ運航基地病院になって以来、

地域住民の御理解のもと本年3月には約400件の出勤実績をあげることが出来ました。これも偏に東部地区の病院・医院の先生方や事故等で現場に出勤する救急救命士・救急隊との連携のなかでドクターヘリの要請を頂き尊い命をより迅速に救命することが出来るようになりました。

また、当院では放射線治療装置を設置し、乳癌、肺癌、子宮癌、前立腺癌等に対する放射線照射、脳腫瘍や手術困難な転移性脳腫瘍に対して定位的放射線治療装置（Xナイフ）で専門医が治療にあっております。

患者様にとって浸襲の少ないMRI・MRA検査やCT検査は、身体の中の病変部を早期に発見するのに各科専門外来が予約を受け放射線科との連携の中で検査を行い検査結果を提供しております。

今後も皆様の御支援御協力をお願い致します。